



活力ある丸亀市を目指します

活力ある丸亀市を目指します。活かす、活用する、活かす。丸亀市は、市民サービス、市民の暮らしを守ることに心がけると考えている。しかし、地方を取り巻く環境は大変厳しく、地域産業の疲弊や雇用の減少に対する抜本的な解決策が見出されていないのが現状である。このうち、市では行財政改革の断行と併せて、市民と行政が一体となったまちづくりのための指針として、丸亀市総合計画を作成した。この計画の中で、政策目標の一つである活力とに、ざわいに満ちたまちの創造に向け、地域経済の振興と雇用機会を拡大を図るため、農林水産業、商工業、観光の振興等、各種施策に取り組みものとしている。

## 多重債務者救済の取り組みについて

尾崎議員 消費者金融などの返済に苦心する多重債務者は、全国で約二百万人とも言われている。多重債務者救済のための対策について伺いたい。一、現在行われている無料法律相談や市民相談以外に多重債務者専門の相談窓口を設置できないか。二、市の広報紙やホームページ等で相談窓口の周知を徹底できないか。三、福祉部門や税徴収部門等が連携を図り、相談者に対して必要な施策を横断的に実施できるようにする必要があるか。

生活環境部長 一、弁護士による無料法律相談や市民相談窓口を設置し、多重債務問題をはじめさまざまな相談に対応している。今後は、あらゆる機会をとらえ市民相談員の育成を行い、相談窓口の充実を図っていきたい。二、市民相談のホームページに多重債務相談の字句を追加し、広報紙でも周知することになっている。また多重債務者無料相談会のチラシをコミュニティセンター等各施設に配布している。三、庁内連絡会の設置については、どのような形にするのか関係課と協議していきたい。四、貸付制度の創設については、国、県及び他市の動向も踏まえながら研究していきたい。五、多重債務者に対して高度な専門知識を必要とする場合にはそれぞれの専門機関を紹介しているが、今後さらに関係機関と連携を図りながら多重債務者対策を推進していきたい。

## 全国学力調査の結果公表について

倉本議員 平成十九年度には四十二年ぶりに全国学力・学習状況調査が実施された。しかし、その結果の公表については全国平均で一割にも達していないのが現状である。非公開の理由として学校の序列化や過度の競争につながるといわれるが、何のために実施したかということをはっきり示す必要があると思う。今回の結果をだれにどこまで公表するのか、その取り扱いについての見解を伺いたい。また市民から情報公開制度に基づく公開の請求事例はあったのか。

教育長 今回の全国学力・学習状況調査は、児童・生徒の学力等を客観的に把握、分析し、指導の改善を図り、学力の向上に生かすために実施されたものである。丸亀市全体の概要としては、基礎的な知識についてはおおむね理解しているが、知識、技能を活用する力に課題がある。今後は、思考力、読解力、身に付けた知識を日常の場面に当て

はめて活用する力などを育成する指導が必要であると考えている。結果の公表についての対応は、文部科学省の定める実施要綱に従って実施することが前提となっている。本市としては数値的な結果の公表は行わず、結果を分析し、傾向と今後の指導改善の方向をまとめ校長会等を通して公表していきたい。また、各学校には保護者に対して学校だよりや保護者参観の際に今後の指導上の留意点について報告を行うようお願いしている。調査結果についての情報公開請求事例は今のところないが、本調査の実施要綱、本市の情報公開条例に従って対応していきたい。



授業を受けるまなざしは真剣です



惜しまれながら閉園された「こどもの国」

## 亀山公園利活用の

### 総合的な推進を

**内田議員** 開園から四十三年間多くの市民に親しまれてきた丸亀城内の遊園地が、近年の利用者の減少等により経営が悪化し閉園となった。また動物園についても平成二十一年度末には閉園となる予定である。両施設の存続についてアンケート調査を実施したが存続、充実を求める意見が多く、改めて市民の関心や思いが強いことを感じさせられる。今後の跡地の利活用については総合的な庁内体制を築き、広く市民に呼びかけ、企画立案からボランティア参加、募金な

どでの参画を推進する考えはないのか。国の史跡ということで、住民本位ではなく国本位の方針を余儀なくされていると思うが、市は国に対してどのような姿勢で臨むのか。また他の城下町の実態も踏まえて、今後の利活用計画を示していただきたい。  
**市長** 亀山公園の利活用については丸亀城跡が国指定の史跡という文化資源であると同時に、市民に身近な公園であり、また観光交流の重要な拠点である。このことを踏まえ、広く市民の意見を聞きながら、本市の総合政策として全庁的に取り組んでいきたい。今の文化庁の行政には幾分疑問を抱いているが、やはり国、県、市が一つとなって史跡整備を進めていかなければ

## 緊急車両の

### サイレンについて

ならないと思う。現段階では文化庁や県に対し、もう少し地域にあった整備をさせてもらえるよう根気よく要望していくしかないと考えている。小田原城と同様に、市民や観光客の散策や憩いの広場として環境を整備し、だれもが気楽に利用できる心地よい都市空間として整備していきたい。

**小松議員** 消防のサイレンを聞けば家の周りを見渡し、近所であれば消防車より早く初期消火や住民の安全確認の手伝いができる。しかし、いまだサイレンが鳴ることはなく、近所であったとしても消防車が来るまで気がつかないことがほとんどである。家屋火災の第一報が入ったらサイレンを鳴らすよう再検討していただきたいがどうか。また郡家分署は団地がそばにあり、救急車等の出発の際のサイレンの音が大きくて地元住民が迷惑している。市民生活が快適に過ごせるよう騒音は六十デシベルまでと定められていると思う。サイレンを最初から大音量で鳴

らすのではなく、出動するときや夜間には音量を少し上げていくなどの対策を考えていただきたいが見解を伺いたい。  
**消防長** 消防がサイレンを鳴らさないから消防車が近くに來るまで火災に気がつかないというのがほとんどであるということだが、われわれの見解とは全く違っている。調査した結果では、故障により鳴らせなかったものや警備、誤報などを除いて必要などときにはきちんと鳴らしている。郡家分署の問題については確かに創設以来の懸案事項であり、これまでも隣接住民と話し合い、誠意ある対応をしてきた



1月6日に東中で行われた消防出初式

と認識している。しかし、救急車両のサイレン音量は道路交通法や道路運送車両法などで九十デシベルから百二十デシベルの間にするよう明確に定められており、規制の対象ではないと考えている。  
**朝ごはんの重要性について**  
**松浦議員** 生活習慣病の予防にはごはん食がよいと言われていたが、どのような利点があるのか。また、朝ごはんを食べない大人や子どもがふえているが、食育に取り組み中で、朝ごはんをしっかりと食べるためにどのような工夫や指導をして、どの程度成果が上がっているのか示していただきたい。  
**市長** 偏った栄養摂取など生活の乱れから、生活習慣病の増加やその予備軍の低年齢化などが社会問題となっている。生活習慣病予防のための食生活指針では、ごはんなどの穀類をしっかりとる食事がよいと言われている。その利点として、食事の脂肪量を少なくできること、お米にはたんぱく質やビタミン、ミネラルを多く含んでいること、

脳にとって非常に安定したブドウ糖の供給源であることなどがあげられる。また、朝ごはんを食べないと、体調不良で仕事や勉強の能率が落ちたり、血糖値の低下で脳の働きが悪くなったりと、体内の糖質が脂肪に変わり肥満や高血圧などの生活習慣病を招くことになる。食生活改善事業では、年齢層に合わせ、健康や生活習慣病予防対策を意識した料理教室や講座を開催したり、コミュニティや自治会で開催する前講座や健康教育を実施し、朝ごはんの重要性を啓発している。さらには、幼稚園や保育所での形劇による朝ごはんの大切さの



朝ごはんは一日の活力源です

啓発や食育講座の実施、親子料理教室や小学生料理教室の開催などに取り組んでいる。食事と生活習慣病の関連や食育の推進についての理解も市民の中に浸透しており、徐々に成果が出ていると考えている。

## 病児・病後児保育の

### 十分な検討を

中谷議員 病気回復期の子どもを対象にした病後児保育や病児保育の子どもを対象にした病児保育の実施が望まれている。看護休暇など整備されてきているが、子どもが病気になるっても、簡単に休みが取れる職場環境にないのが実情である。本市の計画では、どのような病後児保育を想定しているのか。また、病児保育の実施についてどのように考えているのか。次に、施設型の

病児・病後児保育を補完するものとして、子育て経験者などが、一時的に病気の子どもを預かる緊急サポートネットワーク事業がある。香川県でも実施しているが、本市での利用状況及び事業の位置づけについて伺いたい。

健康福祉部長 現在、保育所内に専用スペースを確保し、運用する自園型病後児保育の導入を一カ所考えている。専用スペースの確保や看護師などの配置が必要であり、今後、対象児童の配置や利用方法など他市の取り組み状況を参考にしたい。また、病児保育は、平素は利用が少ないが、風邪などの流行時には利用が多く、運営が不安定である。設置箇所や定員、専任職員の配置などコスト面で困難な部分が多く、近隣の医療機関に設置している施設の紹介などで対応したい。次に、緊急サポートネットワーク事業は、厚生労働省から委託されたNPO法人が県下全域を対象にネットワークを構築し、会員となった保護者から病児・病後児を預かるシステムである。本市では十二月から運用しているが、これまでのところ利用実績はない。今後周知などに努め、積極的に支援していきたいと考えている。

## 各種農業振興策を

### 国に求める考えは

高田議員 香川用水土器川沿岸地区国営農業用水再編対策事業として、幹線用水路改修に百五十億円を投じ、農家負担が五割となっている。生産者米価が大幅に下がり、負担が困難な農家もある中、負担金をなくすよう国や県に求める考えはあるか。

また、すべての国とその国民が自主的に食料・農業政策を決定する食料主権を保障し、国内・地域農業を守るために、米や農産物の輸入を制限する貿易ルールの確立を国に求める考えはあるか。併せて、大規模農家だけを支援する品目横断的経営安定対策から、農業・経営規模に関係なく支援を受けられる品目ごとの対策の復活を国や県に求める考えはあるか。

産業部長 土器川沿岸地区の農業水利施設は、老朽化が著しく、農業用水の安定供給に支障を来している。改修工事により、農業生産の維持、増大と農業経営の安定化を図るものであり、今後国や県との協議の中で、農家負担の減少に努めたい。また、



J Aと連携して農業施策の充実を図ります

農業問題の国際化が進む中、国は国際競争力のある農業経営の育成を図っており、貿易の自由化を制限するのは困難だと考えている。次に、品目横断的経営安定対策は、農業従事者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加などから、担い手育成確保と経営安定を目的に実施された。農家への周知不足などから、先般国が実施したキャラバンで、問題点を指摘したり、生産条件不利補正交付金の早期交付や提出書類の簡素化などの要望を行ったところである。今後も国や関係機関と連携する中で、市の意見を伝えながら、地域農業の振興を図りたい。



# 一般・各特別会計決算 原案のとおり認定

## 一般・各特別会計 決算特別委員会 委員長報告の概要

### 委員会委員

- ◎田中 英雄 ○小松 利弘
- ◎中谷真裕美 ○山本 直久
- ◎小野 健一 ○長友 安広
- ◎三木 まり ○香川 脩
- ◎杉尾 眞澄 ○青竹 憲二
- ◎倉本 清一

### 委員会開催日

九月三日・十月十八日・  
十九日・三十日・三十一日

## 主な質疑

- ◎全ての審議会等会議録をホームページ上に公開できていない理由。
- ◎タウンミーティングの総括と今後への生かし方。
- ◎財政援助団体等への監査を今後も継続していく考え。
- ◎ため池維持管理事業補助金を廃止した影響。
- ◎県外への観光宣伝を重視していく考え。



多くの人に利用されている飯山図書館

- ◎人間ドッグの自己負担額引き上げの根拠及び影響。
- ◎合併特例債の借入状況及び市債残高の推移。
- ◎不動産及び物品の売り払い収入の内訳。
- ◎市民総合センター等に設置されたテレビ電話の使用状況。
- ◎富士見坂団地

- ◎競艇経営改善チームに外部職員を採用したことによる効果。
- ◎三連導入に伴う機器リース料の支払額及び支払終了時期。
- ◎売り上げが増加している競艇電話投票の収益率。
- ◎水洗化促進対策費に係る予算の不用額が多い理由。
- ◎各種相談事業を縮小した理由及びその影響。
- ◎重点事業の住宅用太陽光発電

- システム補助金を縮小していることに対する考え。
- ◎民生費貸付金元利収入の予算額と調定額に開きがある原因。
- ◎非常備消防費の報酬で不用額が多い理由。
- ◎消防職員の資格取得等の研修を計画的に実施する考え。
- ◎老人福祉施設整備促進事業補助金の内容。
- ◎児童課が市内六カ所の児童館を一括して管理する考え。
- ◎保育料滞納分の総額及び滞納者に対する罰則等の対策。
- ◎涉外担当員として県警職員が福祉課に常駐している効果。
- ◎妊婦健康診査件数が減少している理由。

- ◎貸出数が多い飯山図書館において閉架図書を利用する考え。
- ◎学校給食費の徴収状況。
- ◎駐車場案内システムを休止していることへの対応。
- ◎総合運動公園多目的広場周辺整備事業の目的。
- ◎道路照明維持管理における街路灯修繕の状況。
- ◎道路橋りょう改良に伴うバリアフリー化の現状。

## 主な要望

- ◎新風融資制度の利用が促されるよう宣伝していただきたい。
- ◎丸亀市防犯協会に補助金を交
- ◎成人式の今後の取り組み方針。
- ◎留守家庭児童会の保育時間を延長した影響。
- ◎成人式の今後の取り組み方針。
- ◎貸出数が多い飯山図書館において閉架図書を利用する考え。
- ◎学校給食費の徴収状況。
- ◎駐車場案内システムを休止していることへの対応。
- ◎総合運動公園多目的広場周辺整備事業の目的。
- ◎道路照明維持管理における街路灯修繕の状況。
- ◎道路橋りょう改良に伴うバリアフリー化の現状。
- ◎新風融資制度の利用が促されるよう宣伝していただきたい。
- ◎丸亀市防犯協会に補助金を交
- ◎AEDの設置に併せて効果が発揮できるよう取り扱いの指導に力を入れていただきたい。
- ◎介護予防を推進していけるよう十分な人的体制をとっていただきたい。
- ◎手話通訳や要約筆記等の支援体制を充実させ障害者が社会活動に参加できるよう努力していただきたい。
- ◎学校管理費のうち備品購入費の不用額が多いが、児童が伸び伸びと学習できるよう予算は十分に執行していただきたい。



市民総合センターと本庁を結ぶテレビ電話